

群馬工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	歴史
科目基礎情報						
科目番号	1A029		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『新詳世界史B』（帝国書院）、グローバルワイド最新世界史図表・初訂版（第一学習社）					
担当教員	宮川 剛					
到達目標						
世界史における重要な諸事件や諸現象について学ぶ。さらに、地球上の多様な地域や国家の間のヒト・モノ・情報の交流が、それぞれの地域や国家に影響を与え、世界史を動かしていく実態を学ぶ。そして、これらの学習内容が、現代の世界とどのような関係を有しているのかを考察し、よりよき未来を切り開くために必要な視座を獲得する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	世界史における重要な諸事件や諸現象の原因・結果に加えて、類似の現象についても説明することができる。		世界史における重要な諸事件や諸現象の原因・結果について理解できる。		世界史における重要な諸事件や諸現象の原因・結果がよくわかっていない。	
評価項目2	地球上の多様な地域や国家の間のヒト・モノ・情報の交流が、それぞれの地域や国家に影響を与え、世界史を動かしていく実態を理解し、授業で学んだ現象についても応用することができる。		地球上の多様な地域や国家の間のヒト・モノ・情報の交流が、それぞれの地域や国家に影響を与え、世界史を動かしていく実態を理解できる。		地球上の多様な地域や国家の間のヒト・モノ・情報の交流が、それぞれの地域や国家に影響を与え、世界史を動かしていく実態を理解していない。	
評価項目3	世界史の学習内容が現代の世界とどのように関係しているかを理解し、よりよき未来を切り開くための視座を獲得している。		世界史の学習内容が現代の世界とどのように関係しているかを理解している。		世界史の学習内容が現代の世界とどのように関係しているかを理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	・現代世界の歴史的背景を学習することにより、現代世界の課題を見出し、その解決に向けて思考し、行動するための基礎的な知的訓練を積むことができる。 ・世界の国々の文化や社会の歴史的背景を学ぶことにより、グローバル化の時代にふさわしい教養・知識を身につけることができる。 ・現代の日本とは異なる過去の社会や人々の生活を学ぶことにより、物事について多様な角度からアプローチするための訓練を積むことができる。 ・歴史における人類の偉業ならびに愚行について考察することにより、これからの世界を形作るうえで必要な教訓を得ることができる。					
授業の進め方・方法	・授業は主に講義形式で行なう。指定の教科書・資料集を用いて、主に近代以降の世界史に重点を置いて学習する。 ・とくに後期の範囲では、日本史との関連にも留意して、授業を進める。 ・基本的な歴史的事実を学習した後、担当教員との質疑応答のやり取りをつうじて、講義内容の理解を深めていく。学生には積極的に発言・質問することを期待する。 ・授業中配布する資料や文章を読んだり、レポートを作成したりすることにより、思考力や文章表現力を鍛える。					
注意点	課題提出を怠らないように。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	イントロダクション		世界史を学ぶ意義について。	
		2週	近代世界史概観（1）		16～18世紀の世界史を概観する。	
		3週	近代世界史概観（2）		16～18世紀の世界史を概観する。	
		4週	産業社会と国民国家の形成（1）		産業革命	
		5週	産業社会と国民国家の形成（2）		アメリカ合衆国の独立	
		6週	産業社会と国民国家の形成（3）		フランス革命とナポレオン戦争（1）	
		7週	産業社会と国民国家の形成（4）		フランス革命とナポレオン戦争（2）	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	産業社会と国民国家の形成（5）		19世紀における自由主義とナショナリズムの高まり。	
		10週	産業社会と国民国家の形成（6）		19世紀における工業化の進展と社会の変化。	
		11週	近代世界とアジア諸国（1）		19世紀の西アジア	
		12週	近代世界とアジア諸国（2）		インドの植民地化（1）	
		13週	近代世界とアジア諸国（3）		インドの植民地化（2）	
		14週	近代世界とアジア諸国（4）		19世紀の東アジア（1）	
		15週	近代世界とアジア諸国（5）		19世紀の東アジア（2）	
		16週	前期定期試験			
後期	3rdQ	1週	帝国主義の時代（1）		・第二次産業革命。 ・帝国主義の成立。	
		2週	帝国主義の時代（2）		・アジアやアフリカにおける植民地化の動き。	
		3週	第一次世界大戦とロシア革命（1）		第一次世界大戦の背景	
		4週	第一次世界大戦とロシア革命（2）		第一次世界大戦の経過	
		5週	第一次世界大戦とロシア革命（3）		ロシア革命	
		6週	第一次世界大戦とロシア革命（4）		第一次世界大戦とアジア	
		7週	第一次世界大戦とロシア革命（5）		第一次世界大戦の残したもの	
		8週	後期中間試験			

4thQ	9週	戦間期の世界（１）	・ヴェルサイユ体制の成立。
	10週	戦間期の世界（２）	・大戦後の合衆国とヨーロッパ。
	11週	戦間期の世界（３）	・アジアの民族独立運動。
	12週	戦間期の世界（４）	・世界恐慌とファシズムの台頭。
	13週	第二次世界大戦（１）	・第二次世界大戦の勃発。
	14週	第二次世界大戦（２）	・第二次世界大戦下の諸地域。
	15週	第二次世界大戦（３）	・大戦の終結と戦後構想。
	16週	後期定期試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0